

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

# パートナー

2024

vol.17

令和6年6月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

循環器内科／放射線技術部

整形外科／医療の質・安全管理部



# 山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

## 循環器内科

Cardiovascular Medicine

令和6年度は、あらゆる循環器疾患に対し24時間体制で診療を行うため、総勢23名の循環器内科医を配置し、県内の関連病院と連携して重症例の転院を受け入れ、充実した診療体制を整えています。

山梨県唯一の大学病院として、虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション(昨年206例)、頻脈性不整脈に対するカテーテル焼灼術(昨年286例)、末梢動脈疾患に対する末梢血管治療(年間50件以上)に加え、構造的な疾患に対するカテーテル治療も大部分のケースが実施可能となりました。大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植込み術は、2017年の開始以来300例(昨年76例)を超え、専門施設に認定されました。僧帽弁逆流に対する経カテーテル的僧帽弁接合不全修復術は延べ17例、経カテーテル的左心耳閉鎖術は2023年後半から開始し、すでに10例を超えています。さらに、慢性血栓塞栓性肺高血圧に対する経皮的肺

動脈バルーン拡張術も始まりました。

また、ECMO、IMPELLAなどの機械的循環補助装置はすべて整備しており、重症心不全に対応し、今年度は植込み型補助人工心臓管理施設の資格取得を目指しています。

地域医療連携を通して、心不全、動脈硬化の一次予防、二次予防に取り組み、山梨県の循環器診療において、患者さんに安心・安全な医療の提供を目標に日々励んでいます。



## 放射線技術部

Department of Radiation Technology

放射線技術部は県内唯一の特定機能病院である当院において、診療放射線技術を統括する部門です。画像診断部門、IVRセンター、放射線治療部門、放射線管理部門で構成され、中央診療部門の中核を担っています。

画像診断部門は、疾病の有無の判断や術後の経過観察のため、X線撮影、CT検査、MRI検査、RI検査を行い、



最新鋭心臓カテーテル装置

IVRセンターは、アンギオ検査などや血管内カテーテルを用いた画像下治療(IVR)、心臓カテーテルアブレーション(経皮的な心筋焼灼術)を実施して



高精度放射線治療装置

います。放射線治療部門は、がん治療を目的に3台の最先端機能を有した高精度放射線治療装置を設置しています。

放射線技術部内で行う検査・治療に関わる職員は医師、診療放射線技師、看護師、看護助手、臨床工学技士、医学物理士、事務職員など多職種です。チーム医療を行う上で、お互いを理解しリスペクトしながら、放射線技術部の理念である「一人ひとりが納得する安全・安心の医療」のもとに「質の高い画像情報の提供、精度の高い診断と治療の実践」を目標としています。

低被曝で高品質な放射線検査・治療の実践により、病院理念である「すべての患者さんに安心を」を提供するよう部署一同日々臨床業務に取り組んでいます。

## 整形外科

Orthopaedic Surgery

日本人の平均寿命は女性87歳、男性81歳と更新を続けていますが、元気に自立して過ごすことができ日常生活に制限がない健康寿命は女性75歳、男性72歳と大きく乖離しています。この一因は運動器の障害(ロコモティブシンドローム)であり、要支援または要介護の原因のトップが転倒や骨折、関節疾患によるものです。本邦では40歳以上の68%が罹患しているという報告があり、健康寿命を延伸するために整形外科が果たす役割は極めて大きいといえます。

また、小児では、先天性の股関節脱臼や内反足、合多指(趾)症、乳幼児に発症する大腿骨骨頭の血行障害、思春期の女性に多い側弯症、スポーツ障害などの運動器疾患にも対応しています。

当院では小児から高齢者まで、先天性や外傷、加齢性疾患などに対し、脊椎脊髄・関節・手外科・骨軟部腫瘍・小児整形・外傷(スポーツ含)・リハビリテーション・リウマチ領域の診療を行います。保存的治療の後、必要に応じ外科的治療を行い、その後、リハビリテーションを実施し

ます。また、診療科横断型のセンターがあり、脊椎脊髄センターは脳神経外科、リウマチ膠原病センターは内科、皮膚科と共同で診療し、患者さんの治療にあたっています。さらに他院にはない足および肩関節外来も開始しています。

2016年には手術室を改築し、高度清潔区域(バイオクリーンルーム)で手術を行っています。また、O-armナビゲーションシステムと神経モニタリング、高性能顕微鏡やエコーを利用した脊椎脊髄手術を実施しており、現在、ロボットによる手術支援システムを使用した人工関節手術体制を準備しています。2022年にはリハビリテーション室を改修し、広く明るくなった訓練室で患者さんの充実した機能回復を目指しています。



## 医療の質・安全管理部

Department of Quality and Patient Safety

医療の質・安全管理部は、医療の質と安全性の向上を目指し、インシデントレポートの収集や分析、シミュレーション訓練の実施、各種研修会の開催、個別事例への対応などを行なっています。令和5年度は約5,400件のインシデント報告が寄せられ、安全文化に欠かせない報告文化が根付いています。

令和6年度の安全重点目標は、「安全と効率の両立」を掲げました。これまで、効率優先により安全が犠牲になると指摘されてきましたが、医師の働き方改

革が本格始動した今こそ、医療の質・安全管理部が中心となり、この難題に正面から向き合い、効率化が安全につながる職場環境、人間関係づくりに取り組む必要があると考えています。実践に即したシミュレーション、診療科や部署の壁を超えた事例検討会の実施など、これまでの取り組みを発展させる新たな試みを通じて、病院理念である「すべての患者さんに安心を」の実現を目指しています。



新採用者研修の様子



緊急対応シミュレーション

## セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第23回 山梨県小児医療セミナー	日本小児科学会山梨地方会 他 共催	2024年7月9日	山梨大学医学部 臨床大講堂	内線 2322
第2回 山梨県遺伝医療連絡会議 「遺伝疾患の基礎知識(メンデル遺伝)」	山梨県、山梨大学大学院臨床遺伝学講座、 山梨大学医学部附属病院遺伝子疾患診療 センター	2024年8月6日	オンライン	内線 2465 【受付時間】 火・水・木曜日 8:30~16:00
第73回 山梨大学医師会講座	山梨大学医師会、山梨県医師会 他 共催	2024年8月24日 【申込期限】 2024年8月16日	山梨県医師会館	内線 6160
山梨大学医師会生涯教育セミナー	山梨大学医師会、山梨県医師会	2024年8月24日 【申込期限】 2024年8月16日	山梨県医師会館	内線 6160

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

## 入院支援室が「はなみずきラウンジ」に移転しました

入院支援室 看護師長 磯野 絵美

当院の入院支援室は、令和2年10月に開設しました。今年4月には、患者さんの利便性に配慮した場所に「はなみずきラウンジ」として移転し、1つのフロア内で多職種からの支援を受けていただくことができるようになりました。

入院支援室では、予定入院の患者さんご家族に、看護師、薬剤師、管理栄養士、事務職員などが事前に患者さんの状態や意向、服用しているお薬、アレルギー情報、栄養状態を確認し、入院目的に沿った説明を行っています。患者さんやご家族が安心して入院から退院後の療養生活を送ることができるように、多職種と連携し、一人ひとりにあった入院治療および看護の提供を

指しています。

周術期外来は、段階的に運用を開始し、手術日決定後、入院から退院までの期間、診療科医師、麻酔科医、歯科医師、薬剤師、管理栄養

士、看護師などが計画的に介入することにより、患者リスクの早期発見や周術期合併症の予防、精神的な不安やその対処に繋げることを目的としています。



脳卒中・循環器救急センター

(直通) **055-273-1119**

脳神経疾患ホットライン

(直通) **090-1882-6786**

【発行】

山梨大学医学部附属病院 病院広報委員会 〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 TEL:055-273-9732